

## 【上郡町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

上郡町では「夢をひらく教育」という教育理念のもと、主体的・対話的で深い学びを実現するために、こども1人1台端末を効果的に活用し、「先生から教わる授業」から「こどもが学びとる授業」への改善に取り組んでいる。

ICT活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、こどもたちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備えた持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成することに取り組んでいる。

また、個々の家庭の経済事情等に左右されることなく、こどもたちに必要な力を育む平等な学びの機会を提供し、誰一人取り残さない教育を目指している。

#### 2. GIGA第1期の総括

上郡町では、令和2年度に1人1台端末を全校整備し、教科や学習場面に応じて、情報の収集・理解・整理・発信・共有のツールとして端末を日常的に活用している。

児童生徒が自分の考えをまとめ、リアルタイムで考えを共有する授業支援システムや児童生徒一人ひとりの理解度にあわせて問題を出すAI型デジタルドリル（eライブラリ）、中学校においては学校独自に導入を行っているデジタルドリル（ミライシード）など、多種多様なデジタルツールを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきた。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期での利活用によって、1人1台端末は児童生徒の日常的な学びのツールとして定着している。令和7年度に控える端末の更新を着実に進め、児童生徒の「主体的な学び」と「個別最適な学び」をさらに深化させるとともに、何らかの理由で学校に登校できない児童生徒、外国籍の児童生徒、特別な支援が必要な児童生徒に対しての支援、そして、教職員の働き方改革が進むよう、GIGA第2期では以下の取組を推進する。

- (1) ICT支援員の継続配置
- (2) 授業支援システム、学習向上支援教材、プログラミング教材、クラウドツールなど各種デジタルツールの利活用
- (3) 情報モラル教育の推進
- (4) 「心の健康観察」を通じた児童生徒の心身の状況把握や教育相談
- (5) 不登校児童生徒、外国籍の児童生徒、特別な支援を必要とする児童生徒等への学びの保障
- (6) 1人1台端末を利活用するための周辺機器の整備（更新）
- (7) 校内通信ネットワーク環境の整備（改善）